

2023年10月5日

タイに合弁会社「TANGENT HITZ CO., LTD.」を設立 ～ 2023年10月より水門など鉄鋼構造物を製作 ～

日立造船株式会社は、海外における水門事業の拡大を目指し、2023年8月にタイ王国に合弁会社「TANGENT HITZ CO., LTD.（ラヨーン県、代表取締役 比留間 堅、以下、TANGENT HITZ）」を設立しましたが、このほど、同社が現地の鉄鋼構造物メーカーである TANGENT CO., LTD.（以下、TANGENT 社）との間で工場建屋や機械設備などの資産買収に関する契約を締結し、工場の操業を開始しました。

東南アジアには5カ国を流れる国際河川であるメコン川や、タイのチャオプラヤ川など大きな河川が複数あり、雨季は洪水が発生することが多く、各地で河川用水門（河口堰）の設置や水力発電を目的としたダム建設が行われてきました。タイやインドネシア、フィリピンなどでは現在でも洪水が頻発していることから河川ゲートの需要が高く、水力発電所を伴うダムの建設が数多く計画されています。

当社はこれまで、「治水」「利水」「発電」の3つの大きな役割を担うダム用水門、川の水位を調整し、洪水や高潮から町を守る河川用水門、ダム再開発工事で用いられる仮締切設備、津波・高潮対策の防潮水門などを国内外で多数納入していますが、TANGENT HITZ の設立は、海外における新設需要に対応した海外製造拠点の確保や将来的な水門設備の更新需要などを見込んだものです。

今回買収した工場建屋の面積は約 6,480 m²であり、切断、曲げ加工、溶接、機械加工の各設備や10トンの天井クレーン4基などを備え、高い精度が要求される大型水門の製作に対応しています。また、水門以外にも鉄骨やプラント機器、海洋構造物などの製作も可能です。

水門設備は、各国で最初に整備される社会インフラ設備の1つであり、人々の命や豊かな生活を支えています。当社は1923年に水門事業を開始し、これまで海外向けでは東南アジアやアフリカ、北米、南米など11カ国・約30か所に水門設備を納めてきました。100年におよぶ実績を活かし、これからも各国の社会インフラ整備に貢献していきます。

なお、本事業会社の概要は次のとおりです。

1. 会社名：TANGENT HITZ CO., LTD.
2. 所在地：タイ王国 ラヨーン県
3. 代表取締役：比留間 堅
4. 事業内容：水門、鉄骨、プラント機器、海洋構造物などの受注・製作・販売など
5. 設立：2023年8月

6. 資本金：600万タイバーツ（約2,400万円）

7. 出資比率：日立造船株式会社 49%

Bangkok MUFG Limited 19%

M&A Advisory Co., Ltd. 16%

Aura Innovation (Thailand) Co., Ltd. 16%

(終)